#	業コード	2134			課コード		1701	会計種	別一般会	스=1			ヱ 笛/	の種類 ■	政策 [□経常 [□なし
=	*	2134			麻コート		1701	云町悝	別 一般 3	ΔĀT			ア昇(の性類 ■	以東	口腔吊 [цис
1.	事業の概要(PLAN)																
		①事業名	基本事業個別事業	北 茲之末紅	・低田談車業の女	実(少子化対策検	計プロジェクト)			計画への 置づけ	0	有 〇無		②部課名	子ども部・子	子ども支援課	
		③事業主体	〇市		1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		割 ノロ ジェグト)) ④対象均		□我孫子	□天王台 □	<u> </u>]湖北		<u> </u> □布佐	□全市	
(1) 重	業概要	⑤事業期間			平成	30年度 ~			⑥担当耶	職員数			2 人	(換算人数		0.6 人)	
(1) 4	未恢交	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費			0 千円			当該(問	開始)年度	(当初)	7, 9	91 千円	(うち人件費	5,	, 280 千円)	
		(大厅員首位)	施策		重点プロジェクト					·画地区別	(変更後)			(うち人件費 部門別計画への	千円)		
		⑧施策の位置づけ	旭東 コード		33102 単点 4					計画への位置づけ		●有 ○無			位置づけ (計画名)		
(2) E	的	施策目的・				くるため、保育園・幼稚園・NPOなど子育て支援にかかわる団体と の連携を促進します。また、父親の育児参加の促進や地域に根ざした				業目的	少子化対策として、結婚したい方が結婚できるよう、我孫子市社会福祉協議会の 実を図り、成婚・我孫子での定住に繋げます。				会の「結婚相談美	業務」の事業充	
(=) [展開方向	子育て支援事業の充実、市民への啓発、子育でサークルなどによる自主的な活動の促進など、家庭で孤国の少子化対策の1つである、結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目ない支援」(次世代育成支援推進)						立し		我孫子市社会福祉協議会と連携し、我孫子市結婚相談所事業の充実を図ります。						
(3)事	業内容	内 容	基づく行動 携し結婚相 臨時職員等 相談業務を 域全体で紹	計画策定指 目談事業を実 多人件費の一 で中心に定期 も婚したい人	録針や少子化対策 産施しています。 −部補助等を行い 関的な婚活イベン 、を応援する機運	大綱に記載)を実現するために、平成27年度より社会福祉協議会と 事業充実を図るため、けやきブラザ11階の市管轄スペースの提供+ ます。我孫子市結婚相談所(あび・こい・ハート)を週2日開設し、 ト等の開催やお見合いを実施するとともに、民間事業者と連携してよ を醸成し、成婚に繋げます。 や魅力を情報発信して我孫子市での子育てを促し定住に繋げます。			と連 供や 当記 し、 執行 -て地	该年度 亍計画 	通年・けやきブラザ11階における我孫子市結婚相談所の週2回の開設や、イベント・セミナーかかる企画・運営・周知等の支援及び庁内での連絡調整。 ・結婚相談業務に係る臨時職員、相談員の人件費の一部等を社会福祉協議会へ補助金と・結婚相談所利用者への我孫子市の子育て情報や魅力のPR・市全体で結婚を応援する機運を高めるため、民間事業者との連携。 相談・お見合い件数				して交付。 620		
							E (M) (+ 1, 7, 12, 13)			洁果指標 				実績値			579
-	成目標(期待する成果) 該年度	達成目標 (期待する成果) お見合い件数・婚姻数の増加 未婚化の解消							-	指標種類 直接		指標 相談・お見合い件数			単位 (5) 現況値 (6) 目 件 612		
									間接		相談・お見合い						
	成31年度										相談・お見合				件		620
-	和 2年度	未婚化の解消 成婚数は年々増加しているが、結婚新生活は勤務地に近いこと或いは地元に戻る傾向にあるため、登録会員の6割が市外在								1 間接		1130		件		620	
(7)事	業実施上の課題と対応	であることを活か	し、婚活の段	段階から我孫	系子の魅力や子育	fて支援策をPRして	市内での子育て・定住を促 としたイベントを開催しま	す。また、市内在住		案検討	С)有 ●無					
		は本市出身の右右	<u>か我孫子で制</u> 平成29:		「るよう、巾内仕	1仕・仕勤否を対象	<u>.とした1 ヘントを開催しま</u> 平成30年度				平	成31年度			令和	2年度	
		政策	内 容		金額(千円)	政策	内 容	予算額(千円) 決	等額(千円)	政策	内容	2 2	金額(千円) 政策	内 容		金額(千円)
		* 婚活支援事業補	献金			1 * 婚活支援事		2, 609 87			接事業補助金 素用タブレット	通信 料		09 * 婚活支援事 87 * 会員検索用		= #1	2, 609 87
		* 消耗品費			15	5 * 7,239円×				7, 23	239円×12月			* 7,239円		PAT	
		* 講師報償費			100	* 消耗品費		15	15	* 消耗品	:費			15 消耗品費			15
	実施内容																
(8) 旅	行事項																
	費 用				Ì			1								ļ	
		: 	計		2, 673	3	合 計	2, 711	2, 598		合 計		2. 7	111	合 計		2, 711
	国庫支出金	補助率		0 %	. (0 補助率	0 %	0	0	補助率		0 %		0 補助率		0 %	0
	県支出金	補助率		50 %	1, 300	11.07 17	50 %	1, 261	0	補助率		50 %	1, 2			50 %	1, 261
(9) 財	源内訳 起債	充当率		0 %	1 27/	プロー アー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0 %	1 450	0 500	充当率		0 %		0 充当率		0 %	1 450
	一般財源 一般財源	□特会 □受益	益 口基金 口	1その他	1, 373		受益 口基金 口その他	1, 450	2, 598	□特金	会 口受益 口基金	全 口その他	1, 4]受益 口基金	口その他	1, 450 0
	換算人数(人)	19X 1X1	<u> </u>	1 (0) [5	0. 6		文皿 日本並 日代の他	0.6	0.6	L 19 2	云 口文皿 口坐立			1.6	文皿 口坐业		0. 6
(10)	人件費等 正職員人件費				5, 280			5, 280	5, 280				5, 2				5, 280
	嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額				(0	0					0			0
	(予算(決算)額+正職員人件費)				7, 953	3		7, 991	7, 878				7, 9	91			7, 991
	単位費用 (事業費/活動結果指標)		13.71千F	円/回			12.89千円/件		13. 61								
2.	古巻の部体 (DO: OUE OV	•															
	事業の評価 (DO+CHECK))							•								
	学来の評価 (DU+GNEGR 評価項目) 			事:	前評価					事後評	価(評価結果に応	じ、改善等	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -))		改善検討
			因が絡んでし	いるため、多			による結婚、妊娠、出産、	育児の「切れ目な	●①事前確言	認での想定		価(評価結果に応	じ、改善等	案検討(拡充も含む))		改善検討
	評価項目	少子化は様々な要 い支援」が求めら	れています。	本市の婚姻	5角的な対策が必 国率は過去に比べ	み要であり、自治体 で経年的に低下傾	による結婚、妊娠、出産、 向にあります。しかし、市	民意識調査(平成	●①事前確記 ○②事前確認				じ、改善3	案検討(拡充も含む))		
	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・	少子化は様々な要い支援」が求めら 27年)では、独身:	れています。 者73%が「絹	本市の婚姻 吉婚するつも	5角的な対策が必 国率は過去に比べ り」と回答し、	要であり、自治体 くて経年的に低下傾 独身でいる最大の	向にあります。しかし、市! 理由は「適当な相手にまだ;	民意識調査(平成 巡り会わないから	〇②事前確認	認での想定	どおり どおりでなかっ	t-	じ、改善3	・ 案検討(拡充も含む))		O要
	評価項目	少子化は様々な要い支援」が求めら 27年)では、独身:	れています。 者73%が「絹	本市の婚姻 吉婚するつも	5角的な対策が必 国率は過去に比べ り」と回答し、	要であり、自治体 くて経年的に低下傾 独身でいる最大の	向にあります。しかし、市	民意識調査(平成 巡り会わないから	〇②事前確記 <想定どおり	認での想定 とした理由	どおり どおりでなかっ 由/想定どおりて	t-				00	
	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・	少子化は様々な要 い支援」が求めら 27年)では、独身 」が一番多いこと す。	れています。 者73%が「絹 から、結婚支	本市の婚姻 詰婚するつも を援の潜在的	5角的な対策が必 図率は過去に比べ 5り」と回答し、 うなニーズはある	が要であり、自治体 に経年的に低下傾 独身でいる最大の ため、少子化対策	向にあります。しかし、市」 理由は「適当な相手にまだ」 の1つとして非常に重要な行	民意識調査(平成 巡り会わないから	○②事前確記 <想定どおり 婚活支援をす	認での想定 とした理由 ることで、	さだおり さだおりでなかった 由/想定どおりて 、結婚・妊娠・出	た 『なかった原因> 『は産・子育ての「切れ	目ない支	援」に寄与すること	とができたため		O要
必	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・	少子化は様々な要い支援」が求めら、 27年)では、独身 」が一番多いこと、す。 〇①民間企業、N (理由) 口法令等	れています。 者73%が「編 から、結婚支 NPO、市民I で市が実施す	本市の婚姻 計婚するつも 支援の潜在的 団体等では写 「ることが定	5角的な対策が必 国率は過去に比べ らり」と回答し、 うなニーズはある 実施できない	要であり、自治体 くて経年的に低下傾 独身でいる最大の	向にあります。しかし、市」 理由は「適当な相手にまだ」 の1つとして非常に重要な行	民意識調査(平成 巡り会わないから	○②事前確語 <想定どおり 婚活支援をす □①民間企業 ■②市が主義	認での想定 とした理由 ることで、 業、NPO 算で進めな	とどおりでなかった。とどおりでなかった。とおりでなかった。 由/想定どおりでなかった。 結婚・妊娠・出 ・市民団体等でにければ実効性が、	た でなかった原因> 出産・子育ての「切れ は実施できなかった なかった	目ない支 <市実が 社会福祉	援」に寄与すること もの具体的な内容・ 业協議会が運営する	とができたため 必要性の理由) 結婚相談所の過	> 運営を市が支援で	 ●不要
	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・	少子化は様々な要い支援」が求めら 27年)では、独身・ 」が一番多いこと: す。 ○①民間企業、N (理由) □法令等 □提供主信	れています。 者73%が「結 から、結婚支 NPO、市民 で市が実施す 体が市しかな	本市の婚姻 計婚するつも 支援の潜在的 団体等では写 「ることが定	5角的な対策が必 国率は過去に比べ らり」と回答し、 うなニーズはある 実施できない	が要であり、自治体 に経年的に低下傾 独身でいる最大の ため、少子化対策	向にあります。しかし、市」 理由は「適当な相手にまだ」 の1つとして非常に重要な行	民意識調査(平成 巡り会わないから	○②事前確認 <想定どおり 婚活支援をす □①民間企設 ■②市が主義 ■③市が先続	認での想定 とした理由 ることで、 業、NPO 算でとなっ	さどおりでなかった。 さどおりでなかった。 由/想定どおりて、 結婚・妊娠・出	た でなかった原因> 出産・子育ての「切れ は実施できなかった なかった	目ない支 <市実施社会福祉ことで、	援」に寄与すること 他の具体的な内容・ 业協議会が運営する 市の結婚から子育	とができたため 必要性の理由: 結婚相談所の でまでの切れ!	> 運営を市が支援で 目ない支援が実現	● 不要 ● 不要
必要は	評価項目 1) 事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性)	少子化は様々な要い支援」が求めら27年)では、独身」が一番多いことです。 ○①民間企業、N (理由) □法令等・□提供主付・□その他	れています。 者73%が「結 から、結婚支 NPO、実施 で で すが 市しかな	本市の婚姻 吉婚するつも 支援の潜在的 団体等では写 することが定	の角的な対策が必 国率は過去に比べ らり」と回答し、 うなニーズはある 実施できない きめられている	要であり、自治体 で経年的に低下傾 独身でいる最大の ため、少子化対策	向にあります。しかし、市 理由は「適当な相手にまだ;の1つとして非常に重要な行	民意識調査(平成 巡り会わないから	○②事前確記	忍での想 と した せい と した せい と で い と で い と で い と で い と で い と が ひ か な か ま が か が か ま か か か か か か か か か か か か か	とどおりでなかっ 出/想定どおりで ・結婚・妊娠・出 ・市民団体等で ければ実効性が ・たことで市民へ 施策の目標の実	た でなかった原因> 出産・子育ての「切れ は実施できなかった なかった 普及が一層	目ない支 (社会と施るで)	援」に寄与すること 他の具体的な内容・ 业協議会が運営する育 市の結婚から子育 日目標である少子化 ことによって、婚活	とができたため 必要性の理由: 結婚相談所の記 対策に繋がるが の段階から市の	> 運営を市が支援で 目ない支援が実現 ため。また、市が	○要 ●不要 する 現し が関 策や
必要は	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか?	少子化は様々な要い支援」が求めら、 27年)では、独身 」が一番多いこと、す。 ○①民間企業、N (理由) □法令等 □提供主 □その他	れています。 者73%が「新支 から、結婚す NPO、実 で市が東しかな も市が推進す	本市の婚姻も特別である。	5角的な対策が必 国率は過去に比べ 5 り」と回答し、 5 かなニーズはある 実施できない Eめられている	要であり、自治体 で経年的に低下傾 独身でいる最大の ため、少子化対策	向にあります。しかし、市 理由は「適当な相手にまだ;の1つとして非常に重要な行	民意識調査(平成 巡り会わないから	○②事前確記 ○②事前確記 ○②事前確記 ○②申請を記述をす ○②申請の記述 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	忍でのの想をでいる。 業尊尊のでした。 で役と、 で役と、 で役と、 で役と、 で役と、 が水準が、 ・確が、 ・確が、 ・確が、 ・確が、 ・確が、 ・確が、 ・確が、 ・確が、 ・確が、 ・確が、 ・確が、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	とどおりでなかった。 とどおりでなかった。 は、結婚・妊娠・出 、市民団体等ではれば実効性が たことで市民へ 施策の目標の実になった。	た でなかった原因> d産・子育ての「切れ は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した	目ない支 (社会と施るで)	援」に寄与すること 他の具体的な内容・ 此協議会が運営する 市の結婚から子育 D目標である少子化	とができたため 必要性の理由: 結婚相談所の記 対策に繋がるが の段階から市の	> 運営を市が支援で 目ない支援が実現 ため。また、市が	○要 ●不要 する 見し が策 ・ ○要
必要は	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性は	少子化は様々な要にい支援」が求めらに 27年)では、独身・ 3 が一番多いことにす。 ○①民間企業、等に理由)□提供主に回その他 ●②自治体である(理由)■市が主に	れています。名字の名が、名でいます。名で、名で、名が、名が、名が、名が、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、	本市の婚姻も持ている。 本市の場所を対している。 本市の場所を対している。 本市の場所を対している。 本ではいる。 ないできない。 ないことによります。	5角的な対策が必 国率は過去に比べ 5 り」と回答し、 5 かなニーズはある 実施できない Eめられている	要であり、自治体 で経年的に低下修 独身でいる最大の ため、少子化対策 <その他の内 くその他の内	向にあります。しかし、市 理由は「適当な相手にまだ;の1つとして非常に重要な行	民意識調査(平成 巡り会わないから	○②事前確記 ○②事前確記 ○②事前確記 ○②申請を記述をす ○②申請の記述 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	忍	とどおりでなかっ 出/想定どおりで ・結婚・妊娠・出 ・市民団体等で ければ実効性が ・たことで市民へ 施策の目標の実	た でなかった原因> d産・子育ての「切れ は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した	目ない支 (社会と施るで)	援」に寄与すること 他の具体的な内容・ 业協議会が運営する育 市の結婚から子育 日目標である少子化 ことによって、婚活	とができたため 必要性の理由: 結婚相談所の記 対策に繋がるが の段階から市の	> 運営を市が支援で 目ない支援が実現 ため。また、市が	○要 ●不要 する 現し が関 策や
必要は	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか?	少子化は様々な要は シ支援」が求めら 27年)では、独身 」が一番多いことに す。 ○①民間企業、N (理由) □法令等主に □その他 ●②自治体である (理由) ■市が主に □市が実	れ者73% 結 まが おう。 トラー トラー トラー トラー トラー ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボット ・ボー ・ボー ・ボー ・ボー ・ボー ・ボー ・ボー ・ボー	本市の婚姻もを接の潜在の婚姻ももを接の潜でしています。これはまたいいできた。これであります。これであります。これでは、これによいよいないない。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	6角的な対策が必 国率は過去に比べ 5 り」と回る 5 り」と答 5 のなニーズはある 実施できない 6 められている 8 効性が得ら安定 0 、良質で安定し	要であり、自治体 で経年的に低下修 独身でいる最大の ため、少子化対策 <その他の内 くその他の内	向にあります。しかし、市 理由は「適当な相手にまだ;の1つとして非常に重要な行	民意識調査(平成 巡り会わないから	○②事前確 ○②事前確 ○②事前確 ○②市がま ○③市がが生 ○②市がが生 の世 ○○サービン ○○・サービン	忍 での とる	とどおりでなかった。 とどおりでなかった。 は、結婚・妊娠・出 、市民団体等ではれば実効性が たことで市民へ 施策の目標の実になった。	た でなかった原因> d産・子育ての「切れ は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した	目ない支 (社会と施るで)	援」に寄与すること 他の具体的な内容・ 业協議会が運営する育 市の結婚から子育 日目標である少子化 ことによって、婚活	とができたため 必要性の理由: 結婚相談所の記 対策に繋がるが の段階から市の	> 運営を市が支援で 目ない支援が実現 ため。また、市が	○要 ● 不要 する 見し が策 ・ ○ 要
必要は	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか?	少子化は様々な要い支援」が求めら27年)では、独身。」が一番多いことです。 ○①民間企業、N等に回そのでは、N等に回るのである。 ②自治体である。 ●②自治体である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	れている方では、 本者73%、 トの中が市市で進程の供証こる で体 ので体 のでは、 のでは、 のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	本市の婚姻もを接の潜在の婚姻ももを接の潜でしています。これはまたいいできた。これであります。これであります。これでは、これによいよいないが、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	9角的な対策が必 国率は過去に比べ 5り」と回答し、 うなニーズはある 実施できない とめられている	要であり、自治体 で経年的に低下修 独身でいる最大の ため、少子化対策 <その他の内 くその他の内	向にあります。しかし、市 理由は「適当な相手にまだ;の1つとして非常に重要な行	民意識調査(平成 巡り会わないから	○②事前確確 ○②事前確確 ○②事前をおりす ○③ます ○③ます ○③ます ○○の ○○の ○○の ○○の ○○の ○○の ○○の ○○	忍 での とる	とどおりでなかった。 とどおりでなかった。 は、結婚・妊娠・出 、市民団体等ではれば実効性が たことで市民へ 施策の目標の実になった。	た でなかった原因> d産・子育ての「切れ は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した	目ない支 (社会と施るで)	援」に寄与すること 他の具体的な内容・ 业協議会が運営する育 市の結婚から子育 日目標である少子化 ことによって、婚活	とができたため 必要性の理由: 結婚相談所の記 対策に繋がるが の段階から市の	> 運営を市が支援で 目ない支援が実現 ため。また、市が	○要 ● 不要 する 見し が策 ・ ○ 要
必要は	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか?	少子化は様々な要い支援」が求めら。 27年)では、独身と 」が一番多いこと:す。 ○①民間企業、等 (理由)□提供主 □ で他 ●②自治体である (理由)■市が実 リー・サー・で支	れている方では、 本者73%、 トの中が市市で進程の供証こる で体 ので体 のでは、 のでは、 のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	本市の婚姻もを接の潜在の婚姻ももを接の潜でしています。これはまたいいできた。これであります。これであります。これでは、これによいよいないが、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	6角的な対策が必 国率は過去に比べ 5 り」と回る 5 り」と答 5 のなニーズはある 実施できない 6 められている 8 効性が得ら安定 0 、良質で安定し	要であり、自治体 で経年的に低下修 独身でいる最大の ため、少子化対策 <その他の内 くその他の内	向にあります。しかし、市 理由は「適当な相手にまだ;の1つとして非常に重要な行	民意識調査(平成 巡り会わないから	○②事前確確 ○②事前確確 ○②事前を対して、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、 ○○のでは、	忍 とる 東京 東京 東京 東京 大道と N進と 大道と 大道と 大道と 大道と 大道と 大道と 大道と 大道	とどおり とどおりでなかっ 由/想定どおりて 、結婚・妊娠・出 、市民団体等で ければ実効性が たことで市民へ 施策の目標の実 に保された 総基盤が確保さ	た でなかった原因> 出産・子育ての「切れ は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた	目ない支 (社会と施るで)	援」に寄与すること 他の具体的な内容・ 业協議会が運営する育 市の結婚から子育 日目標である少子化 ことによって、婚活	とができたため 必要性の理由: 結婚相談所の記 対策に繋がるが の段階から市の	> 運営を市が支援で 目ない支援が実現 ため。また、市が	○要 ●不要 する 見し が策 ・ ○要
必要は	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか?	少子化は様々な要い支援」が求めらられては、独身とはでは、独身とす。 ○①民間企業、等に理由)□提供の他 ●②自治体である(理由)■市が実にサーバ支に表現がによる。	れています。 者73%、 トで体 トで体 トで体 トで体 トでは ・では ・では ・では ・では ・では ・では ・では ・	本市の動物を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	6角的な対策が必 国率は過去に比べ 5 り」と回る 5 り」と答 5 のなニーズはある 実施できない 6 められている 8 効性が得ら安定 0 、良質で安定し	要であり、自治体 で経年的に低下傾 独身でいる最大の ため、少子化対策 <その他の内 くその他の内	向にあります。しかし、市 理由は「適当な相手にまだ; の1つとして非常に重要な行 容> 容> 工夫の具体的な内容	民意識調査 (平成 巡り会わないから 役割を担っていま	○②事前 確認 はおり を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	忍 とる	とどおりでなかつ。 由/想定どおりでなかつ。 結婚・妊娠・・ 、市は民実で市民の。 たたことで市民へ、 施策のれた。 施策された。 倫像されが確保さい。 働の具体的な場合に	たでなかった原因> ご在・子育ての「切れ は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた なな なな なた なな ながった なかった なかった なかった なかった なかった なかった なかった まま なかった なかった なかった なかった なかった なかった なかった なかった なかった なかった なかった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながら ながった ながら ながら ながら ながった ながら ながら ながら ながら ながら ながら ながら ながら	目ない支 <	援」に寄与すること 徳の具体的な内容・ 此協議会が運営する 市の結婚から子育 の目標である少子化 ことによって、婚活 力をPRできるよう	とができたため 必要性の理由: 結婚相談所の記 対策に繋がるが の段階から市の	> 運営を市が支援 目ない支援が実実 ため。また、市が の子育て支援施り	○要 ● 不要 する 見し が策 ・ ○ 要
必要は	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか?	少子化は様々な変ら、27年)では、独さとす。 ○①民間企業、N等には、27年)のである。 ○①民間企業、N等には、20日間のである。 ②自治体である。 ●②自治体である。 ●②自治体である。 □ 中が現が、日本の他	れている	本市する潜 をでいる。 は定 では、 では、 では、 では、 では、 では、 でもいる。 にといる。 にといる。 には、 の内容 の内容 の内容 の内容 の内容 の内容	6角的な対策が必 国率は過去に比べ 5 り」と回る 5 り」と答 5 のなニーズはある 実施できない 6 められている 8 効性が得ら安定 0 、良質で安定し	要であり、自治体 にて経年的に低下傾 独身でいる最大の ため、少子化対策 <その他の内 ・	向にあります。しかし、市、理由は「適当な相手にまだ。の1つとして非常に重要な行 なうこうである。 本書のである。 本書のでは、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいままま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいままままままままままままままままままままままままままままままままままま	民意識調査 (平成 巡り会わないから 役割を担っていま	○②事前 だおす 企業を を できます に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	② とる *	とどおりでなかつ。 由/想定どおりでなかつ。 結結婚・妊娠、・由 、市民団体等性が、 たたことで市民へ、 施策の目標の実 に保された。 経保された確保さい。 働の具体的な合に に時相談所協力回	たでなかった原因> 出産・子育ての「切れ は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた なく又は今後、 よその内容) 日体募集要領を我孫子	目ない支 放行 大会とで 集記 できる とう しゅう とう	援」に寄与すること 他の具体的な内容する 市の結婚から不管する 市の結婚から子的に対している。 たとによってきるよう かをPRできるよう 参加・協 初期待した以上	とができたため 必要性の理由 を婚婚相談所のが おまでの別れに 対策に繋がるが の段階から市の になる。	> 運営を市が支援 目ない支援が実実 ため。また、市が の子育て支援施り	○要 ●不要 する 見し が策や ○要
必要性参加	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	少子化は様々な要い支援」が求めらられては、独身とはでは、独身とす。 ○①民間企業、等に理由)□提供の他 ●②自治体である(理由)■市が実にサーバ支に表現がによる。	れて3%に は 1 で	本市する潜 はたい べいきにと り のりりのもつ在 は定 ない かられこ み 容 のりりり	6角的な対策が必 国率は過去に比べ 5 り」と回る 5 り」と答 5 のなニーズはある 実施できない 6 められている 8 効性が得ら安定 0 、良質で安定し	要であり、自治体 でを経年的に低下候 独身でいる最大の ため、少子化対策 <その他の内 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	向にあります。しかし、市、理由は「適当な相手にまだ。の1つとして非常に重要な行 なうこうである。 本書のである。 本書のでは、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「おいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいままま」では、「まいまま」では、「まいまま」では、「まいままままままままままままままままままままままままままままままままままま	民意識調査(平成 巡り会わないから 役割を担っていま	○②事前 は なり す は が	忍 とる 、 業 尊 真 大 で した N 進と	とどおりでなかつ。 由/想定どおりでなかつ。 結結婚・妊娠、・由 、市民団体等性が、 たたことで市民へ、 施策の目標の実 に保された。 経保された確保さい。 働の具体的な合に に時相談所協力回	たでなかった原因> ご在・子育ての「切れ は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた なな なな なた なな ながった なかった なかった なかった なかった なかった なかった なかった まま なかった なかった なかった なかった なかった なかった なかった なかった なかった なかった なかった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながった ながら ながった ながら ながら ながら ながった ながら ながら ながら ながら ながら ながら ながら ながら	目ない支 が社 大会で (本社) 大き (本社) 大き (本社) 大き (本本) (本本	援」に寄与すること 徳の具体的な内容・ 此協議会が運営する 市の結婚から子育 の目標である少子化 ことによって、婚活 力をPRできるよう	とができたため 必要性の理由 を婚婚相談所のが おまでの別れに 対策に繋がるが の段階から市の になる。	> 運営を市が支援 目ない支援が実実 ため。また、市が の子育て支援施り	○要 ●不要 する 見し が策や ○要
必要性参加・	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	少子化は様々な変ら、27年)である。 27年)であります。 ○①民間企業会供主他 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	れて1945 A 776 A 776	本語を接ている。 べことここ 動 有有有携の はっこう きにと り 内切りりしている まんしょ か 容 いっこう いっこう いっこう かっこう かっこう いっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう か	5角的な対策が必 図率は過去に の 10 とのできない 実施できない をめられている を対性が得らたし を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 をがし、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、	要であり、自治体 でを経年的に低下候 独身でいる最大の ため、少子化対策 <その他の内 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	向にあります。しかし、市 理由は「適当な相手にまだ」の1つとして非常に重要な行名 容 工夫の具体的な内容 デナーの講師として市民から	民意識調査(平成 巡り会わないから 役割を担っていま	○②事前 は ない は は ない ない は は ない	忍 とる 、 業 尊 真 大 で した N 進と	とどおりでなかつ。 由/想定どおりでなかつ。 結結婚・妊娠、・由 、市民団体等性が、 たたことで市民へ、 施策の目標の実 に保された。 経保された確保さい。 働の具体的な合に に時相談所協力回	たでなかった原因> 出産・子育ての「切れ は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた なく又は今後、 よその内容) 日体募集要領を我孫子	目ない支 <市会と施すると 市の魅力 ○① 3当 ○② 3当	接」に寄与すること をの具体的な内容・ 此協議会が強から子化 市の結婚ある、婚活う の目標であってきるよう かをPRできるよう 参加・協 初期待した以上 初期特したと下 初初期待したと下	とができたため 必要性の理由が を婚婚相談所の私 対策に繋がるが の段階から市の になる。	> 運営を市が支援 目ない支援が実実 ため。また、市が の子育て支援施動	● 不不要
必要性参加・	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	少子化は様々な変更い支援」が求めらられては、	れて1945 A 776 A 776	本語を接ている。 べことここ 動 有有有携の はっこう きにと り 内切りりしている まんしょ か 容 いっこう いっこう いっこう かっこう いっこう いっこう いっこう かいしょう しょう かいしょう かいしょう しょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう しょう しょう しょう かいしょう かいしょう しょう かいしょう しょう しょう しょう かいしょう はんしょう しょう しょう はんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	5角的な対策が必 図率は過去に の 10 とのできない 実施できない をめられている を対性が得らたし を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 をがし、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、	要であり、自治体では発生的に低下傾からため、少子化対策 < その他の内部 くその他の内部 くその他の内部 くその他の内部 があります。 イベントやもままた、増活イン・サールます。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	向にあります。しかし、市 理由は「適当な相手にまだ」の1つとして非常に重要な行名 容 工夫の具体的な内容 デナーの講師として市民から	民意識調査(平成 巡り会わないから 役割を担っていま	○②事前 は ない は は ない ない は は ない	忍 とる 、 業 尊 真 大 で した N 進と	とどおりでなかつ。 由/想定どおりでなかつ。 結結婚・妊娠、・由 、市民団体等性が、 たたことで市民へ、 施策の目標の実 に保された。 経保された確保さい。 働の具体的な合に に時相談所協力回	たでなかった原因> 出産・子育ての「切れ は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた なく又は今後、 よその内容) 日体募集要領を我孫子	目ない支 <市会と施すると 市の魅力 ○① 3当 ○② 3当	援」に寄与すること をの具体的な内容する は協議会が婚かる小客する 市の結婚的あて、おう の目標であっか婚活う からとによった をPRできるよう をPRできるよう	とができたため 必要性の理由が を婚婚相談所の私 対策に繋がるが の段階から市の になる。	> 運営を市が支援 目ない支援が実実 ため。また、市が の子育て支援施動	○要 ● 不不要 する 現し が関 策や ○ 要 ● 不
必要性参加・協學	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	少子化は様々な変ら、27年)であります。 ○①民間企業会供主他 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	れて7%、 スで体 あ導施ス援図 フで体 の導施ス援図 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	本語を接ている。 べことここ 動 有有有携の はっこう きにと り 内切りりしている まんしょ か 容 いっこう いっこう いっこう かっこう いっこう いっこう いっこう かいしょう しょう かいしょう かいしょう しょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう しょう しょう しょう かいしょう かいしょう しょう かいしょう しょう しょう しょう かいしょう はんしょう しょう しょう はんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	5角的な対策が必 図率は過去に の 10 とのできない 実施できない をめられている を対性が得らたし を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 をがし、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、	要であり、自治体では発生的に低下傾からため、少子化対策 < その他の内部 くその他の内部 くその他の内部 くその他の内部 があります。 イベントやもままた、増活イン・サールます。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	向にあります。しかし、市 理由は「適当な相手にまだ」の1つとして非常に重要な行名 容 工夫の具体的な内容 デナーの講師として市民から	民意識調査(平成 巡り会わないから 役割を担っていま	○②事前 は ない は は ない ない は は ない	忍 とる 、 業 尊 真 大 で した N 進と	とどおりでなかつ。 由/想定どおりでなかつ。 結結婚・妊娠、・由 、市民団体等性が、 たたことで市民へ、 施策の目標の実 に保された。 経保された確保さい。 働の具体的な合に に時相談所協力回	たでなかった原因> 出産・子育ての「切れ は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた なく又は今後、 よその内容) 日体募集要領を我孫子	目ない支 <市会と施すると 市の魅力 ○① 3当 ○② 3当	接」に寄与すること をの具体的な内容・ 此協議会が強から子化 市の結婚ある、婚活う の目標であってきるよう かをPRできるよう 参加・協 初期待した以上 初期特したと下 初初期待したと下	とができたため 必要性の理由が を婚婚相談所の私 対策に繋がるが の段階から市の になる。	> 運営を市が支援 目ない支援が実実 ため。また、市が の子育て支援施動	● 不不要
必要性参加・	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	少子化は様々な変要い 27年)が、独立と 17年)で多い 17年)の①民間企業令供生 0 ①民間企業令供生 0 ②自治は下市が現が 17年の 17年の 17年の 17年の 17年の 17年の 17年の 17年の	れて7%、 スで体 あ導施ス援図 フで体 の導施ス援図 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	本語を接ている。 べことここ 動 有有有携の はっこう きにと り 内切りりしている まんしょ か 容 いっこう いっこう いっこう かっこう いっこう いっこう いっこう かいしょう しょう かいしょう かいしょう しょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう しょう しょう しょう かいしょう かいしょう しょう かいしょう しょう しょう しょう かいしょう はんしょう しょう しょう はんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	5角的な対策が必 図率は過去に の 10 とのできない 実施できない をめられている を対性が得らたし を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 をがし、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、	要であり、自治体では発生的に低下傾からため、少子化対策 < その他の内部 くその他の内部 くその他の内部 くその他の内部 があります。 イベントやもままた、増活イン・サールます。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	向にあります。しかし、市 理由は「適当な相手にまだ」の1つとして非常に重要な行名 容 工夫の具体的な内容 デナーの講師として市民から	民意識調査(平成 巡り会わないから 役割を担っていま	○②事前 は ない は は ない ない は は ない	忍 とる 、 業 尊 真 大 で した N 進と	とどおりでなかつ。 由/想定どおりでなかつ。 結結婚・妊娠、・由 、市は民実のは体等性が、 たたことで市民へ、 施策の目標の実 に保された。 に保された。 を保された。 を保された。 を保め、 のの具体的な合に に には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	たでなかった原因> 出産・子育ての「切れ は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた なく又は今後、 よその内容) 日体募集要領を我孫子	目ない支 <市会と施すると 市の魅力 ○① 3当 ○② 3当	接」に寄与すること をの具体的な内容・ 此協議会が強から子化 市の結婚ある、婚活う の目標であってきるよう かをPRできるよう 参加・協 初期待した以上 初期特したと下 初初期待したと下	とができたため 必要性の理由が を婚婚相談所の私 対策に繋がるが の段階から市の になる。	> 運営を市が支援 目ない支援が実実 ため。また、市が の子育て支援施動	● 不不要 する 見しが関 ● 不不要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要
必要性参加・	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	少子化は様々な変ら、27年)であります。 ○①民間企業会供主他 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	れて37%、	本語授援 団rus べとられこよ 動 有有有携 かい さにと り の りりしているよに 政 容 ありに 政 な の りりりしている まり ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5角的な対策が必 図率は過去に の 10 とのできない 実施できない をめられている を対性が得らたし を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 をがし、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、	要であり、自治体では発生的に低下傾からため、少子化対策 < その他の内部 くその他の内部 くその他の内部 くその他の内部 があります。 イベントやもままた、増活イン・サールます。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	向にあります。しかし、市、理由は「適当な相手にまだ」の1つとして非常に重要な行 容> 工夫の具体的な内容 ミナーの講師として市民からす。 ベントにおいては利用者自ら	民意識調査(平成 巡り会わないから 役割を担っていま	○②事前 は ない は は ない ない は は ない	忍 とる	とどおりでなかった。 由/想定と好いは、 、	たでなかった原因> 出産・子育ての「切れ は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた なく なく なく なく なく ないの容 の内容 の力容 の力を得る体制を整え	目ない支 <市会と施すると 市の魅力 ○① 3当 ○② 3当	援」に寄与すること をの具体的な内容・ は協議会がは運ち子で 市の結婚ある少・婚よう の目標にあって、 のよった。 参加・協 初期待したとより 初初期待したと下	とができたため 必要性の理由が 対策に繋がる がったい なる。 動の程度・内容 由 / 期待以下・	> 運営を市が支援 目ない支援が実実 ため。また、市が の子育て支援施動	● 不不要
必要性参加・	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	少子化は様々な変。 27年) 「大学 「大学 」 「大学 」 「大学 」 「大学 」 「大学 」 「一番 を 1 「日本 一	れて3%、 スで体 お で の で の で の で の で の で の で の で の	本語など 団 かい べい きにと り の りりりしてい さい こる よい	5角的な対策が必 図率は過去に の 10 とのできない 実施できない をめられている を対性が得らたし を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 をがし、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、	要であり、自治体では、 で経年的に低ま大の、 独身でいる最大の かため、少子化対策 <その他の内に ・た イベッカーで、 イベッカーで、 イベッカーで、 イベッカーで、 イベッカーで、 イベッカーで、 イベッカーで、 イベッカーで、 イベッカーで、 イベッカーで、 イベッカーで、 イベッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボッカーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 ・ イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 イボーで、 ・ イボーで、 イボーで ・ イボーで ・ ・ イボーで ・ イボーで ・ イボーで ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	向にあります。しかし、市、 理由は「適当な相手にまだ; の1つとして非常に重要な行名。 容> 工夫の具体的な内容 テナーの講師として市民からす。 ベントにおいては利用者自ら 取組む内容	民意識調査 (平成 巡り会わないから 役割を担っていま 選出するよ 6企画する内容を含	②②	忍 とる	とどおりでなかった。 由/想定とどもりでなかった。 は、お婚・妊娠・妊娠・妊娠・大ければとで、 は、中のはなででは、 は、中のはなででは、 は、中のはないでは、 は、中のはないでは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、 は、中のは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	たでなかった原因> 出産・子育ての「切れ は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた なく なく なく ないの容〉 の内容〉 日本募集要領を我孫子 る力を得る体制を整え	目ない支 市会と施する を で の の り の り の り の り り の り り り り り り り り	援」に寄与すること をの具体的な内容・ は協議会が連営ら子ではあるのも様であって、 の目標であって、 のよったを かから 参加・協 初期待したとよい 初初期待したとより こた以上となった理 環境	とができたため 必要性の理由が を婚婚相談所の私 対策に繋がるが の段階から市の になる。	> 運営を市が支援 目ない支援が実実 ため。また、市が の子育て支援施動	● 不不要 する 見しが関 ● 不不要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要
必要性参加・	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	少子化は様々な変ら。 27年) がって	れ者736、 Nで体	本語など 団 かい べい きにと り の りりりしてい さい こる よい	5角的な対策が必 図率は過去に の 10 とのできない 実施できない をめられている を対性が得らたし を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 をがし、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、	要であり、自治体を に低身でいる子に を経身でいる子に を表すいる子に を表すいる子に を表する。 でも、他の内に でも、 でも、 でも、 でも、 でいます。 を表する。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいま。 でいます。 でいます。 でいます。 でいま。 でいます。 でいます。 でいまな。 でいま。 でい	向にあります。しかし、市は理由は「適当な相手にまだ;の1つとして非常に重要な行為 本の1つとして非常に重要な行為 本の1つとして市民からます。ペントにおいては利用者自らない。ペントにおいては利用者自らないで手質に関連を散策した。 ない おり	民意識調査 (平成) (平成) (東京	○② マクタ	忍 とる	とどおりでなかった。 由/想定とどもりでなかった。 は、お婚・妊娠・妊娠・妊娠・大ければとで、 は、中のはなででは、 は、中のはなででは、 は、中のはないでは、 は、中のはないでは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、 は、中のは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	たでなかった原因> 出産・子育ての「切れ は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた なく なく なく ないの容〉 の内容〉 日本募集要領を我孫子 る力を得る体制を整え	目ない支	援」に寄与すること をの具体的な内容・ は協議会がは運ち子で 市の結婚ある少・婚よう の目標にあって、 のよった。 参加・協 初期待したとより 初初期待したと下	とができたため 必要性の理由の が大きないない。 がある。 ののになる。 働の程度・内容	> 運営を市が支援・ 目ない支援が実実 ため。また、市が の子育て支援施動	● 不不要
必要性参加・協働の工夫環境	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	少子化は様々な変ら。27年) であら身」 が一番 の① は であいまといま であいま であいま であいま であいま であいま であいま であいま であ	れ者73%、 Pで体	本語授援 団h c い べこられこよ 動 有有有携 ののる潜 等と でよに 政 の りりりし ていきにこる り の りりりし ていた ありに 政 容 る実り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5角的な対策が必 図率は過去に の 10 とのできない 実施できない をめられている を対性が得らたし を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 をがし、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、	要であり、自治体に にを経年的い。 にを経りで、 を発生のいる。 をでありにの最大の策 であり、一般では、 でもの他のの内に でものでは、 でものでは、 でものでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでもないるでは、 でもないるでもないるでもないるでもないるでもないるでもないるでもないるでもないる	向にあります。しかし、市、 理由は「適当な相手にまだ」。の1つとして非常に重要な行為である。 本 大の具体的な内容を を トーの講師として市民からます。 下で手質においては利用者自らない。 取組む内容を散策した利力で、 取組を関連を制設所は 取り、また、開設時は温度調整をした利力で、 ので手質にある。	民意識調査 (平成) (平成) (東京	○② マクタ	忍 とる	とどおりでなかった。 由/想定とどもりでなかった。 は、お婚・妊娠・妊娠・妊娠・大ければとで、 は、中のはなででは、 は、中のはなででは、 は、中のはないでは、 は、中のはないでは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、 は、中のは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	たでなかった原因> 出産・子育ての「切れ は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた なく なく なく ないの容〉 の内容〉 日本募集要領を我孫子 る力を得る体制を整え	目ない支 市会と施すを 大きで、 大きで、 大きで、 大きで、 大きで、 大きで、 大きで、 大きで、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 の	援」に寄与すること 極の具体的な内容する 企協議会がは運営ら子化活の結婚ある少・婚よう の目長によてきるよう 参加・協 初期待したとより 初初期待したと下 した以上となった理 環境	とができたため 必要性の理由の が は は ができた ができた が できたため 必	> 運営を市が支援・ 目ない支援が実実 ため。また、市が の子育て支援施動	●
必 要 性 参加·協働の工夫 環境へ	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性)	少子化は様々な変ら。 27年) がって	れ者73%、 Pで体	本語授援 団h c い べこられこよ 動 有有有携 ののる潜 等と でよに 政 の りりりし ていきにこる り の りりりし ていた ありに 政 容 る実り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5角的な対策が必 図率は過去に の 10 とのできない 実施できない をめられている を対性が得らたし を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 をがし、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、	要であり、自治体に にを経年的い。 にを経りで、 を発生のいる。 をでありにの最大の策 であり、一般では、 でもの他のの内に でものでは、 でものでは、 でものでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでは、 でもないるでもないるでは、 でもないるでもないるでもないるでもないるでもないるでもないるでもないるでもないる	向にあります。しかし、市は理由は「適当な相手にまだ;の1つとして非常に重要な行為 本の1つとして非常に重要な行為 本の1つとして市民からます。ペントにおいては利用者自らない。ペントにおいては利用者自らないで手質に関連を散策した。 ない おり	民意識調査 (平成) (平成) (東京	○② マクタ	忍 とる	とどおりでなかった。 由/想定とどもりでなかった。 は、お婚・妊娠・妊娠・妊娠・大ければとで、 は、中のはなででは、 は、中のはなででは、 は、中のはないでは、 は、中のはないでは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、 は、中のは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	たでなかった原因> 出産・子育ての「切れ は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた なく なく なく ないの容〉 の内容〉 日本募集要領を我孫子 る力を得る体制を整え	目ない支 市会と施すを 大きで、 大きで、 大きで、 大きで、 大きで、 大きで、 大きで、 大きで、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 の	接」に寄与することをの具体的な内容・というでは、 をの具体的な内容・のできる子化活力の目標であるいのがある。 からとによってきるようできるようできるようできるようできるようできるようできるようできるようで	とができたため 必要性の理由の が は は ができた ができた が できたため 必	> 運営を市が支援・ 目ない支援が実実 ため。また、市が の子育て支援施動	● 不不要
必 要 性 参加·協働の工夫 環境へ	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性)	少子化は様々な変ら身と27年) 「	れ者か Pで体 5 - 導施ス接図	本語授援 団h c い べこられこよ 動 有有有携 ののる潜 等と でよに 政 の りりりし ていきにこる り の りりりし ていた ありに 政 容 る実り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5角的な対策が必 図率は過去に の 10 とのできない 実施できない をめられている を対性が得らたし を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 をがし、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、	要であり、自治体に にを経年的い。 にを経りで、 を発生のいる。 をでありにの最大の策 であり、一般では、 でもの他のの内に でものでは、 でものでは、 でものでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなで	向にあります。しかし、市、 理由は「適当な相手にまだ」。の1つとして非常に重要な行為である。 本 大の具体的な内容を を トーの講師として市民からます。 下で手質においては利用者自らない。 取組む内容を散策した利力で、関連を制設所は温度調整で、開設時は温度調整がある。また、開設時は温度調整がある。	民意識調査 (平成) (平成) (東京	○② マリング マリング マリング マリング マリング マリング マリング マリング	忍 とる	とどおりでなかった。 由/想定とどもりでなかった。 は、お婚・妊娠・妊娠・妊娠・大ければとで、 は、中のはなででは、 は、中のはなででは、 は、中のはないでは、 は、中のはないでは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、 は、中のは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	たでなかった原因> 出産・子育ての「切れ は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた なく なく なく ないの容〉 の内容〉 日本募集要領を我孫子 る力を得る体制を整え	目ない支 市会と施すを 大きで、 大きで、 大きで、 大きで、 大きで、 大きで、 大きで、 大きで、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 の	援」に寄与すること 極の具体的な内容する 企協議会がは運営ら子化活の結婚ある少・婚よう の目長によてきるよう 参加・協 初期待したとより 初初期待したと下 した以上となった理 環境	とができたため 必要性の理由の が は は ができた ができた が できたため 必	> 運営を市が支援・ 目ない支援が実実 ため。また、市が の子育て支援施動	●不不要要要する見いが策やの要不要要要を要要をある。
必要性参加·協働の工夫環境へ	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性)	少子化は様々な変ら。27年) 「	れ者か Pで体 5 - 導施ス接図	本語授援 団h c い べこられこよ 動 有有有携 ののる潜 等と でよに 政 の りりりし ていきにこる り の りりりし ていた ありに 政 容 る実り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5角的な対策が必 図率は過去に の 10 とのできない 実施できない をめられている を対性が得らたし を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 をがし、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、	要であり、自治体に にを経年的い。 にを経りで、 を発生のいる。 をでありにの最大の策 であり、一般では、 でもの他のの内に でものでは、 でものでは、 でものでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもいるでは、 でもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなで	向にあります。しかし、市、 理由は「適当な相手にまだ」。の1つとして非常に重要な行為である。 本 大の具体的な内容を を トーの講師として市民からます。 下で手質においては利用者自らない。 取組む内容を散策した利力で、関連を制設所は温度調整で、開設時は温度調整がある。また、開設時は温度調整がある。	民意識調査 (平成) (平成) (東京	○② マリング マリング マリング マリング マリング マリング マリング マリング	忍 とる	とどおりでなかった。 由/想定とどもりでなかった。 は、お婚・妊娠・妊娠・妊娠・大ければとで、 は、中のはなででは、 は、中のはなででは、 は、中のはないでは、 は、中のはないでは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、中のは、 は、 は、中のは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	たでなかった原因> 出産・子育ての「切れ は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた なく なく なく ないの容〉 の内容〉 日本募集要領を我孫子 る力を得る体制を整え	目ない支 市会と施すを 大きで、 大きで、 大きで、 大きで、 大きで、 大きで、 大きで、 大きで、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 の	援」に寄与すること 極の具体的な内容する 企協議会がは運営ら子化活の結婚ある少・婚よう の目長によてきるよう 参加・協 初期待したとより 初初期待したと下 した以上となった理 環境	とができたため 必要性の理由の が は は ができた ができた が できたため 必	> 運営を市が支援・ 目ない支援が実実 ため。また、市が の子育て支援施動	●不不要要要する見いが策やの要不要要要を要要をある。
必 要 性 参加·協働の工夫 環境へ	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性)	少子化は様々な変らら27年) 「	れ者70°。 N で体 あ 導施 ス 援図	本語程 が おけない べことこと 助 有有有携 ののる潜 等と でよに 政 容 ののででは ない きにと り のりりりして はな ありより ・ ののもの ない きにと り の りりりして はな ありまり ・	5角的な対策が必 図率は過去に の 10 とのできない 実施できない をめられている を対性が得らたし を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 をがし、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、	要であり、自治体をでは、 でを経年のいる子の他の内容があり、 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	向にあります。しかし、市は理由は「適当な相手にまだ; の1つとして非常に重要な行為 1つとして非常に重要な行為 2 大の具体的な内容 できまった。 取組む内容 取組む内容 取組む内容 で手質に 結婚相談所の利表 1のまた、開設時は温度調整 が 1のまた、開設時は温度調整 が 1のまた。 関級に努めています。	民意識調査 (平成) (平成) (東京	○② マリング マリング マリング マリング マリング マリング マリング マリング	忍 とる 業 尊 尊 れ 会 本 会 が 定 供 と る 、	とどおりでなかった。 はおりでなかった。 はおりでなかった。 はおりでなかった。 はおりではない。 はないなが、はないなが、はないないではない。 はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	たでなかった原因> は産・子育ての「切れ は実施できなかった 普及が一層 現に貢献した れた 祭(又は今後、 まその内容) 別体募集要領を我孫子 あ力を得る体制を整え	目ない支 市会と施すを 大きで、 大きで、 大きで、 大きで、 大きで、 大きで、 大きで、 大きで、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 の	援」に寄与すること 極の具体的な内容する 企協議会がは運営ら子化活の結婚ある少・婚よう の目長によてきるよう 参加・協 初期待したとより 初初期待したと下 した以上となった理 環境	とができたため 必要性の理由の が は は ができた ができた が できたため 必	> 運営を市が支援・ 目ない支援が実実 ため。また、市が の子育て支援施動	●不不要要要する見いが策やの要不要要要を要要をある。
必 要 性 参加·協働の工夫 環境へ	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性)	少子化は様々な変ら身と27年) 「	れ者か Pで体 5 - 導施ス接図	本語程 研 本語程 を は な に と に と に と に と に と に と に と に と に と に と に と に と に と に と に と に と に と に に と に と に と に と に と に と に と に と に と に と に と に と に と に と に と に と に と に と に と に と に に と に に と に に に に に に に に に に に に に	を 角的な対策が必べ。 日本 は は は は は は は は は は は は は は は は は は	要であり、自治体をでは、 で経年のいる子の他の内が、 くその他の内が、 くその他の内が、 くその他の内が、 くその他の内が、 くその他の内が、 では、ごみのは、 がらています。、 がらています。、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	向にあります。しかし、市は理由は「適当な相手にまだ;の1つとして非常に重要な行為 本の1つとして非常に重要な行為 本の1つとして非常に重要な行為 本の1つとして市民からず、シトにおいては利用者自らず、シトにおいては利用者自らず、シトにおいては利用者自らず、対象に対して、結婚相談所の利力である。また、開設時は温度調整がある。また、開設時は温度調整がある。	民意識調査 (平成) (平成) (東京	○② マリック では、	忍 とる _業 尊尊化 の しこ N 進と P めな 策が定	とどおりでなかった。 は が は が は が ない かっと と と と と と と と と と と と と と と と な が な に と を は た か な に た た な な か な は な か な は な が な は な が な は な が な は な が な は な が な は な が な は な が な は な が な は な が な は な が な は な が な は な が な は な が な は な な は な な な は な な な は な な な な	たでなかった原因> 出産・子育ての「切れ は実施できなかった なかった 普及が一層 現に貢献した れた なく なく なく ないの容〉 の内容〉 日本募集要領を我孫子 る力を得る体制を整え	目ない支	援」に寄与すること 極の具体的な内容する 企協議会がは運営ら子化活の結婚ある少・婚よう の目長によてきるよう 参加・協 初期待したとより 初初期待したと下 した以上となった理 環境	とができたため 必要性の理由の が は は ができた ができた が できたため 必	> 運営を市が支援・ 目ない支援が実実 ため。また、市が の子育て支援施動	●不不要要要する見いが策やの要不要要要を要要をある。
必要性参加・協働の工夫 環境への配慮	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性)	少子化は様々な変ら。27年) 「	れ者73%、 トラ (本) が (本) で	本語授援 団hu control con	A 角的な対策が必べ。 A Pap は B A	要でありにある。 ・ 自治体候の ・ は、	向にあります。しかし、市は理由は「適当な相手にまだ」。の1つとして非常に重要な行為 本の	民意識調査(平成 週間を担っていま のである。 のである。 のである。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	○② マリング マリング マリング マリング マリング マリング マリング マリング	忍 とる ^業 尊 尊 h 2	とどおりでなかった。 はおりでなかった。 はおりでなかった。 はおりでなかった。 はおりではない。 はないなが、はないなが、はないないではない。 はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	た でなかった原因> 日産・子育ての「切れは実施できなかったなかった 普及が一層 現に貢献した れた	目ない支 (接」に寄与することをの具体が対象のは関係では、 をの具体がが少いがある。 が自身にはないできる音化活うの目にによったをPRできる音化活うの目にによった。 参加上にかをPRできるようのできる音化活うのは、 参加上にからいない。 を加速により、 を加速により、 を加速により、 を加速により、 を加速により、 を加速により、 を加速により、 を加速により、 を加速により、 を加速により、 を加速により、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	とができたため 必要性の原物の はなる は の の 配慮	> 運営を市が支援・ 目ない支援が実実 ため。また、市が の子育て支援施動	●
必要性参加・協働の工夫 環境への配慮	評価項目 11)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 22)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 15 15 15 15 15 16 16 17 16 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	少子化は様々な変らら27年) 「	れ者70°。 N で体 あ 導施 ス 援図	本語程	A 角的な対策が必べ、 A 国事はよりに A 国をはまりに A 国をはまり A 国をはまり A 国をはまり A 国をはまりに A 国をはまりに A 国をはまりに A 国をはまりに A 国をはまりに A 国をはまり A 国を	要であり、自治体を にを経年のいる子の他の内部 では、独身で、少子の他の内部 では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	向にあります。しかし、市は理由は「適当な相手にまだ; の1つとして非常に重要な行為 本の目のとして非常に重要な行為 本の目のとして非常に重要な行為 本の目のとして市民からます。 「本の目のとしては利用者自られている。」 「本の中で、開設所は、「関連を関係を表現では、「関連を表現では、「関連を表現では、「関連を表現である。」 「本の手を表現では、「本の手を表現では、「本の手を表現では、「本の手を表現では、「本の手を表現している。」 「本の手を表現では、「本の手を表現では、「本の手を表現では、「本の手を表現している。」 「本の手を表現では、「本の手を表現している。」 「本の手を表現している。」 「本の手を表現しています。」 「本の手を表現ります。」 「本の手を表現しています。」 「本の手を表現しています。」 「本の手を表現しています。」 「本の手を表現しています。」 「本の手を表現しています。」 「本の手を	民意識調査 (平成ら 関連 (平成ら 関連 (平成ら) (平成ら) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の	○② マリック では、	忍 とる ^業 尊 尊 h 2	とどおりでなかった。 由、結、大力は出来では、は、大力は、大力には、大力には、大力には、大力には、大力には、大力には、大力	た でなかった原因> は定・子育ての「切れ は実施できまなかった を音をながった できなが、一層 現に貢献した れた (又の内容) できまる なよその外でであるない。 なよその外でである。 なよその外でである。 の1 目目標をできまる。 の2 にはった。 の2 にはった。 の3 に変成である。 の4 によった。 の4 によった。 の4 にはいった。 の4 によった。 の4 によった。 の5 によった。	目 ない 支	接」に寄与することを を山協議の結婚のを の具体がが変わるできる育化活う を出まったを を出まったを をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活う をかりまする音化活力を をかりまする音化活力を をなったないまする。 をなったないまする音にないまする。 をなったとないまする。 をなったとないまする。 をなったとないまする。 とないまする音化にないまする。 をないまする。 をないまする。 をないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	とができたため 理由の 経験 できたため 理由の がいる がった は できた	◇ 運営を市が支援等 重営を市が援が、支援等 を 市が援が、市が の で 表 で 表 で 表 で 表 で 表 で 表 で 表 で 表 で 表 で	● であるしまでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
必要性参加・協働の工夫 環境への配慮	評価項目 11)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 22)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 15 15 15 15 15 16 16 17 16 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	少子化は様々な変ら身と27年) 「	れ者70 Pで体 b 導施ス援図	本語授 団 c c c c c c c c c c c c c c c c c c	A 角的な対策が必べ、 A 国事はよりに A 国をはまりに A 国をはまり A 国をはまり A 国をはまり A 国をはまりに A 国をはまりに A 国をはまりに A 国をはまりに A 国をはまりに A 国をはまり A 国を	要でを表す。 自治体をの は、	向にあります。しかし、市は理由は「適当な相手にまだ」。の1つとして非常に重要な行為 本の	民意識調査 (平成ら 関連 (平成ら 関連 (平成ら) (平成ら) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の	○② マクタ	忍 とる ^業 尊尊 は	とどおりでなかった。 由 が では	た でなかった原因>	目 ない 支	接」に寄与することをの具体的な運動を対している。 を出版ではいる。 を出版ではいる。 をいる。 をいる。 をいる。 をいる。 をいる。 をいる。 をいる。 を	とができたため 登権 は かいできた かい 変性 の 頭の 利 は がい できた かい 要性 の 頭の れ に がい かい なる かい なる かい なる かい は かい なる かい は かい なる かい は かい	◇ 運営を市が援が、 運営を市が援が、支援等に たのようでするでするできます。 であった原因〉 であった原因〉 であったの身の身	● であるしまでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
必要性参加・協働の工夫 環境への配慮	評価項目 11)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 22)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 15 15 15 15 15 16 16 17 16 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	少子化は様々な変ら。27年) 「	れ者か Pで体 h 導施ス援図	本語授援 団hu control co	毎角的な対策が必べ、 ・	要でを表す。 自治体候の はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	向にあります。しかし、市は理由は「適当な相手にまだ」の1つとして非常に重要な行為 1つとして非常に重要な行為 2 本人の 2 本人の 3 本人の 4 本人の 4 本人の 5 本	民意識調査 (平成) (平成	○② マクタ	忍 とる 業 尊 尊 h 1 ま 2 ま 2 ま 3 ま 3 ま 3 ま 4 ま 3 ま 3 ま 4 ま 3 ま 3 ま 4 ま 3 ま 4 ま 3 ま 4 ま 4	とどおりでなかった。 由 が では、	た でなかった原因> は定・子育ての「切れ は実施できまなかった を音をながった できなが、一層 現に貢献した れた (又の内容) できまる なよその外でであるない。 なよその外でである。 なよその外でである。 の1 目目標をできまる。 の2 にはった。 の2 にはった。 の3 に変成である。 の4 によった。 の4 によった。 の4 にはいった。 の4 によった。 の4 によった。 の5 によった。	目	接」に寄与することを (本)	とができたため 要性の原体 ができた かい 要性の関係 ができた かい 要性の 関係 のいい はい かい ない ない かい ない はい かい はい がい はい かい がい はい かい はい がい はい かい はい がい はい はい かい はい	◇ 運営を市が受ける。 であった原因〉 であった原因〉 であった原因〉	● であるしまでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
必要性参加・協働の工夫環境への配慮	評価項目 11)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 22)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 15 15 15 15 15 16 16 17 16 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	少子化は様々な変ら身と27年) 「	れ者か P で体 お 導施ス援図	本婚授 ない さにとり の p y y y o l に ない さにとり の p y y y o l に ない さにとり の p y y y o l に ない なりに 政 容 いい は定 る実り・	毎角的は別な過去のでは、 「要は の の の の の の の の の	要でを発生している。	向にあります。しかし、市には 一切にあります。しかし、まだに 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の	民意識調査 (平成) (平成	○② マクタ	認 とる ^{業 真 真 に}	とどおりでなかった。 由 が では	たでなかった原因> は定・子育ての「切れは実施できなかったできなかった 普及が一層 現に貢献した れた 「文は今後、 は今後、 は今後、 は今の内容領を我孫尧え の内容の領を我孫尧え の「日間に東極成成。 「日談仲の「日間に東極成」にして 「日談仲の」に 「日述仲の」に 「日談仲の」に 「日談仲の」に 「日談仲の」に 「日談仲の」に 「日述の」に	目 <社こ、与市	援」に寄与すること を他協議の結婚のは強いの関係を対する有化活う を関係したいという。 をいるは、おいないのは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	とができたたため 要相 の の 和 の の の の の の の の の の の の の の の の	全体 であった原因 > であったの名 であったのの名 であったのの名 こついて	● であるしまでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性) (市実施の必要性) (市実施の必要性) (市実施の必要性) (市実施の必要性)	少子化は様々な変ら身とに対す。 ○①日の □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	れ者か P で体 b 導施ス援図	本語授 団 c c c c c c c c c c c c c c c c c c	毎月的はよった。 ・ 本のでは、ない、 を表して、 でもいい。 を表して、 でもいい。 を表して、 でもいい。 を表して、 でもいい。 を現現適同でもいい。 でもいい。 を現現適同でもいい。 を現現適同でもいい。 でもいい。 を現現適同では、 でもいい。 を見まる。 でもいい。 でもいい。 でもいい。 でもいい。 でもいい。 では、	要でを発すの 1 1 1 1 1 1 1 1 1	向にあります。しかし、市は理由は「適当な相手にまだ」の1つとして非常に重要な行為 1つとして非常に重要な行為 2 本人の 2 本人の 3 本人の 4 本人の 4 本人の 5 本	民意識調査 (平成) (平成	○② × りゅう ・	認 とる ^{業 真 真 に}	とどおりではかった。 は、	たでなかった原因> 「はなかった原因>」 「は実施できますできなかったは実施でた」 「現に貢献した」 「以内内要領を我孫系えば、「大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大	目 <社こ、与市	援 (とができたため、	〉運動を 市が援が、 であったの子 であった 原因 〉 となって あった 原因 〉 こついて こった	●
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	評価項目 11)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 22)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 15 15 15 15 15 16 16 17 16 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	少子化は様々なならりとこれでは、	れ者か Pで体 h 導施ス援図	本語授 団 c c c c c c c c c c c c c c c c c c	毎角的は対象を表現である。 ・ 「大きない」としている。 ・ 「大きない」を表現現のできません。 ・ 「大きない」を表現現のできません。 ・ 「「大きない」を表現現のできません。 ・ 「「国現のできません。 ・ 「国現のできません。 ・ 「国現のできません。 ・ 「国のできません。 ・ 「日のできません。 ・ 「日のできません。 ・ 「日のできません。 ・ 「日のできません。 ・ 「日のできません。 ・ 「日のできません。 ・ 「日のできません。 ・ 「日のできまません。 ・ 「日のできまません。 ・ 「日のできままません。 ・ 「日のできまままままままままままままま。」 ・ 「日のできまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	要でを発すの 1 1 1 1 1 1 1 1 1	向にあります。しかし、まだはの1つとして非常に重要な行為として非常に重要な行為として非常に重要な行為として非常に重要な行為としてもまだがの1つとしての異性のでは、おいては利用者自らでは、おいては利用者自らでは、おいては利用者自らでは、おいては利用者自らでは、おいては利用者自らでは、おいては利用者自らでは、おいては、関います。	民意識調査 (平成) (平成	○② × りゅう ・	忍 とる ^集	とどおりではいかった。 はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいか	たでなかった原因> 「はなかった原因>」 「は実施できますできなかったは実施でた」 「現に貢献した」 「以内内要領を我孫系えば、「大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大	目 <社こ、与市	援」に寄与すること を他協議の結婚のは強いの関係を対する有化活う を関係したいという。 をいるは、おいないのは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	とができたため、	〉運動を 市が援が、 であったの子 であった 原因 〉 となって あった 原因 〉 こついて こった	●
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性) (1)日標齢に配慮して事業を進めているか? (1)目標齢定は適切か? (1)目標齢をは適切か?	少子化は様々なならりとこれでは、	れ者か P で体 b 導施ス援図	本語授	毎角的は引き、	要で経年があり、	向にあります。したにまた。 本書 はいます。 はいます。 はいます。 はいいます。 はいます。 はいまます。 はいまます。 はいまます。 はいまます。 はいまます。 はいまます。 はいまます。 はいまままます。 はいまままままままます。 はいまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	民意論会 (平成ら (平成ら) (平成ら	○② × りゅう ・	忍 とる ^集	とどおりではかった。 は、	たでなかった原因> 「はなかった原因>」 「は実施できますできなかったは実施でた」 「現に貢献した」 「以内内要領を我孫系えば、「大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大	目 <社こ、与市	援 (とができたため、	〉運動を 市が援が、 であったの子 であった 原因 〉 となって あった 原因 〉 こついて こった	●
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性) (1)日標齢に配慮して事業を進めているか? (1)目標齢定は適切か? (1)目標齢をは適切か?	少子化は様々な変ら身とに対す。 ○①日の □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	れ者か Pで体 h 導施ス援図	本婚授 団 c c c c c c c c c c c c c c c c c c	毎年の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	要で	向にあります。というには、	民意論会 (平成)	○② × りゅう ・	忍 とる ^集	とどおりではかった。 は、	たでなかった原因> 「はなかった原因>」 「は実施できますできなかったは実施でた」 「現に貢献した」 「以内内要領を我孫系えば、「大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大	目 <社こ、与市	援 (とができたため、	〉運動を 市が援が、 であったの子 であった 原因 〉 となって あった 原因 〉 こついて こった	●
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性) (1)日標齢に配慮して事業を進めているか? (1)目標齢定は適切か? (1)目標齢をは適切か?	少子化は様々な変ら身とに対す。 ○①日の □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	れ者か Pで体 お導施ス援図	本婚授	の	要で	向にあります。	民意論会 (平成)	○② × りゅう ・	忍 とる ^集	とどおりではかった。 は、	たでなかった原因> 切れ は実施・子育でかった できなかった 原因> 切れ は実施・子育できな かった できる できる できる できる かった できる から	目 < 社 c 、 与市	接「に寄与することである」とは、「に寄与な運動を対した。」という。 「はいっとなっている」を対した。 「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、」」は、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、」」は、「ないのでは、「ないのでは、」」は、「ないのでは、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「は、このでは、」は、「ないのでは、」は、は、は、は、は、は、は、は	とができたない。 という を という	を で あった原因 > で あった原因 > で あった	●
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性) (市実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (市実施する必要性はあるか? (市実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (市実施のを表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	少子化は様々なあらりとです。 ○①日の	れ者か Pで体 お導施ス援図	本婚授	の	マスカー	向にあります。しかし、まだはの1つとして非常に重要な行為として非常に重要な行為として非常に重要な行為として非常に重要な行為として非常に重要な行為として非常に重要な行為としては、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1	民意論会の (平成ら) は (平成ら	○② × りゅう ・	図 とる 業尊尊化	世 と おり で おり で おり で おり で おり で なかって は かった は かった は かった は かった は かった は かった は なか は かった は なか は ない	た でなかった 原因〉 「	目 < 社 こ 、 与市	援 (とができたない。 という を という	を で あった原因 > で あった原因 > で あった	●
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性	評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性) (市実施の必要性) (市実施のを表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表	少子化は様々なあらきとです。 ○①日の	れ者70	本婚授	の	要で経身が、	向にあります。として非常に重要な行為というにあります。として非常に重要な行為として非常に重要な行為として非常に重要な行為として非常に重要な行為として非常に重要な行為として利用用を容がしている。というには、これを表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	民意演員 (平成ら 表) と は 本の に が 削減で と と 本の に が 削減で と と 本の に が 削減で と と 本の に が 削減で きんしょう に か 削ぎ たんしょう に は か 削ぎ たんしょう に は か しょう に は か 削ぎ たんしょう に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に な に	○② × りゅう ・	忍 とる ^業 尊	でどおりでなかった。 は	たでなかった原因> 切れ は実施・子育でかった できなかった 原因> 切れ は実施・子育できな かった できる できる できる できる かった できる から	目 < 社 こ 、 与市	接「に寄与することである」とは、「に寄与な運動を対した。」という。 「はいっとなっている」を対した。 「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、」」は、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、」」は、「ないのでは、「ないのでは、」」は、「ないのでは、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「は、このでは、」は、「ないのでは、」は、は、は、は、は、は、は、は	とができたない。 という を という	を で あった原因 > で あった原因 > で あった	●
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性) (市実施の必要性) (市実施の必要性) (市実施の必要性) (市実施の必要性) (市実施の必要性) (市実施の必要性)	少子化は様々なあらりとです。 ○①日の	れ者70	本婚授	の国際のは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	要で経身が、	向にあります。しかし、まだはの1つとして非常に重要な行為として非常に重要な行為として非常に重要な行為として非常に重要な行為として非常に重要な行為として非常に重要な行為としては、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1	民意演員 (平成ら 表) と は 本の に が 削減で と と 本の に が 削減で と と 本の に が 削減で と と 本の に が 削減で きんしょう に か 削ぎ たんしょう に は か 削ぎ たんしょう に は か しょう に は か 削ぎ たんしょう に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に な に	○② マ	忍 とる ^業 尊	世 と おり で と さい かっこ	たでなかった原因> 「	目 < 社 こ 、 与市	接「に寄与することである」とは、「に寄与な運動を対した。」という。 「はいっとなっている」を対した。 「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、」」は、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、」」は、「ないのでは、「ないのでは、」」は、「ないのでは、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「は、このでは、」は、「ないのでは、」は、は、は、は、は、は、は、は	とができたない。 という を という	を で あった原因 > で あった原因 > で あった	●
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性) (市実施のを表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表	少子化は様々なあらきとです。 ○①日の	れ者70	本婚授	毎年の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	要で経身が、	向にあります。として非常に重要な行為というにあります。として非常に重要な行為として非常に重要な行為として非常に重要な行為として非常に重要な行為として非常に重要な行為として利用用を容がしている。というには、これを表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	民意演員 (平成ら 表) と は 本の に が 削減で と と 本の に が 削減で と と 本の に が 削減で と と 本の に が 削減で きんしょう に か 削ぎ たんしょう に は か 削ぎ たんしょう に は か しょう に は か 削ぎ たんしょう に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に な に	○② 実績値(f)(・ 579 実績値(g)(千 7,878 名)	忍 とる ^業 尊	でどおりでなかった。 は	たでなかった原因> 「	目 < 社 こ 、 与市	接「に寄与することである」とは、「に寄与な運動を対した。」という。 「はいっとなっている」を対した。 「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、」」は、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、」」は、「ないのでは、「ないのでは、」」は、「ないのでは、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「は、このでは、」は、「ないのでは、」は、は、は、は、は、は、は、は	とができたない。 という を という	を で あった原因 > で あった原因 > で あった	●
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 3	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性) (1) 目標設定は適切か? (2) 事業費削減の工夫をしているか? (3) 目標値を実現する為に投じる事業力に適正か? (目標対費用)	少子化は様々なあらきとです。 ○①日の	れ者か P で体 G 導施ス援図	本婚授 Direct Control of the control	毎年9月の (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	要で独身の	向にあります。として非常に重要な行為というにあります。として非常に重要な行為として非常に重要な行為として非常に重要な行為として非常に重要な行為として非常に重要な行為として利用用を容がしている。というには、これを表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	民意演員 (平成ら 表) と は 本の に が 削減で と と 本の に が 削減で と と 本の に が 削減で と と 本の に が 削減で きんしょう に か 削ぎ たんしょう に は か 削ぎ たんしょう に は か しょう に は か 削ぎ たんしょう に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に は な に な に	○② マ	忍 とる ^業 尊	世 と おり で と さい かっこ	たでなかった原因> 「	目 < 社 こ 、 与市	接「に寄与することである」とは、「に寄与な運動を対した。」という。 「はいっとなっている」を対した。 「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、」」は、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、」」は、「ないのでは、「ないのでは、」」は、「ないのでは、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「ないのでは、」は、「は、このでは、」は、「ないのでは、」は、は、は、は、は、は、は、は	とができたない。 という を という	を で あった原因 > で あった原因 > で あった	●
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 3	評価項目 (1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性) (市実施のを表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表	少子化は様々な変ら身と27年) 「	れ者か P で体 G 導施ス援図	本婚授	の	要で経身が、	向にあります。として非常に重要な行為というにあります。として非常に重要な行為として非常に重要な行為として非常に重要な行為として非常に重要な行為として非常に重要な行為として利用用を容がしている。というには、これを表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	民意演会 (平水成ら (平水成ら) (平水成ら) (平水成ら) (平水成ら) (平水成ら) (平水成ら) (平水の)	○② マ	忍 とる ^業 尊	世 と おり で と さい かっこ	たでなかった原因> 「	目 <社こ、与市	援」に寄与なでは、	とができたない。 という を という	を で あった原因 > で あった原因 > で あった	●
必 要 性	評価項目 (1) 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性) (1) 目標設定は適切か? (2) 事業費削減の工夫をしているか? (3) 目標値を実現する為に投じる事業力に適正か? (目標対費用)	少子化は様々なあらら27年) では、	れ者から P で体 お 導施ス援図	本婚授	の	要で経身が、	向にあります。	民意論会 (平成ら (平成ら) (平成ら	○② マ	忍 とる ^業 尊	世 と おり で と が お い か か か か か か か か か か か か か か か か か か	たでなかった原因> 「	目 <社こ、与市	援」に寄与なでは、	とができたない。 という を という	を で あった原因 > で あった原因 > で あった	●